

Chapter 1 章タイトル

基本コンセプト

- その言語の魅力、面白さを伝える
- 内容はガチでも、デザインは柔らか

XX-01 節タイトル - Enter The TypeScript or GoLang

リード文。読者に話しかける感じで、この節で説明することを知ると、何ができるようになるのかを伝えてください。あああああああああああああああああああ



●モジュールを利用する - h3中見出し

●datetimeクラスの利用 - h4小見出し

Chapter4でオリジナルの関数をまとめたモジュールを作りましたが、実はPythonには、はじめから多数のモジュールが付属しています。これら付属のモジュールを総称して「標準ライブラリ」と呼びます。

標準ライブラリのモジュールを利用することで、プログラムでできることの範囲をさらに広げることができます。標準ライブラリは `import` 文でインポートするだけですぐに利用できます。

chap5-3-1.py

```
from datetime import date, timedelta
start = date( 2018, 6, 18 )    #←コメントの先頭を←にすると引き出し線に
for days in range(14):        #←繰り返しの for 文
    cur = start + timedelta( days=days )
    print( cur )
```

実行結果

2018/6/18
2018/6/18
2018/6/18
2018/6/18

複数のクラスをカンマ区切りで指定すると、まとめてインポートできます。

●2週間分の日付の一覧を作る

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリューエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。 x^2

$$y = x^2 + \frac{1}{3}\sqrt{2}$$

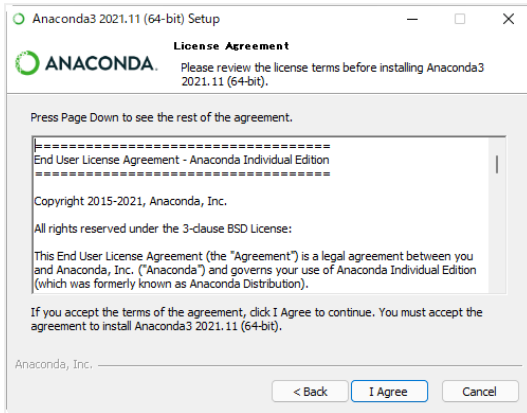
標準ライブラリのモジュール（抜粋）

モジュール名	説明
csv	CSV ファイルの読み込みと書き込みを行う
datetime	日時を扱う
json	Web でよく用いられる JSON 形式のデータを扱う
math	三角関数など数値計算用の関数がまとめられている
pathlib	ファイルやフォルダの操作を行う
random	乱数（デタラメに見える数）を生成する
tkinter	GUI アプリケーションを作る
zipfile	ZIP 形式の圧縮ファイルを扱う

- 箇条書きああ
- 箇条書き
- 箇条書き
- 箇条書き

1. 番号付き箇条書き

2. 番号付き簡条書き
3. 番号付き簡条書き
4. 番号付き簡条書き



①手順 [I Agree] をクリック

②手順 [Cancel] をクリック

▶結果

コラム：コラムタイトル

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリュエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。

Chapter 2 章タイトル

基本コンセプト

- その言語の魅力、面白さを伝える
- 内容はガチでも、デザインは柔らか

XX-01 節タイトル - Enter The TypeScript or GoLang

リード文。読者に話しかける感じで、この節で説明することを知ると、何ができるようになるのかを伝えてください。あああああああああああああああああああ



●モジュールを利用する - h3中見出し

●datetimeクラスの利用 - h4小見出し

Chapter 4でオリジナルの関数をまとめたモジュールを作りましたが、実はPythonには、はじめから多数のモジュールが付属しています。これら付属のモジュールを総称して「標準ライブラリ」と呼びます。

標準ライブラリのモジュールを利用することで、プログラムでできることの範囲をさらに広げることができます。標準ライブラリは `import` 文でインポートするだけですぐに利用できます。

chap5-3-1.py

```
from datetime import date, timedelta
start = date( 2018, 6, 18 )    #←コメントの先頭を←にすると引き出し線に
for days in range(14):        #←繰り返しの for 文
    cur = start + timedelta( days=days )
    print( cur )
```

実行結果

2018/6/18
2018/6/18
2018/6/18
2018/6/18

複数のクラスをカンマ区切りで指定すると、まとめてインポートできます。

●2週間分の日付の一覧を作る

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリュエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。 x^2

$$y = x^2 + \frac{1}{3}\sqrt{2}$$

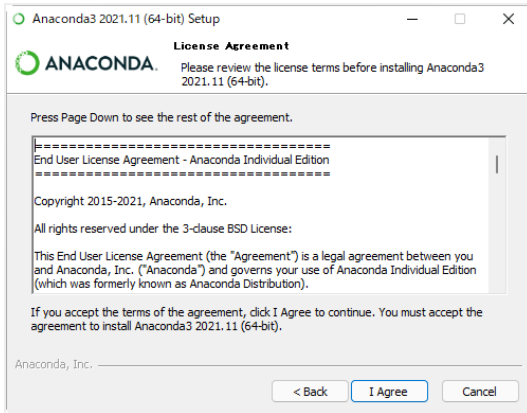
標準ライブラリのモジュール（抜粋）

モジュール名	説明
csv	CSV ファイルの読み込みと書き込みを行う
datetime	日時を扱う
json	Web でよく用いられる JSON 形式のデータを扱う
math	三角関数など数値計算用の関数がまとめられている
pathlib	ファイルやフォルダの操作を行う
random	乱数（デタラメに見える数）を生成する
tkinter	GUI アプリケーションを作る
zipfile	ZIP 形式の圧縮ファイルを扱う

- 箇条書きあああああああああああああああああああああああああああああああああ
ああああああ
- 箇条書き
- 箇条書き
- 箇条書き

1. 番号付き箇条書き

2. 番号付き簡条書き
3. 番号付き簡条書き
4. 番号付き簡条書き



①手順 [I Agree] をクリック

②手順 [Cancel] をクリック

▶結果

コラム：コラムタイトル

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、dateオブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリュエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日のdateオブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedeltaオブジェクトを加えて目的の日付を作ります。